



# 常陽中だより

令和5年 3月 8日

尼崎市立常陽中学校

校長 徳山 壮一

No. 18

## チーム常陽の活躍



○兵庫県中学生バドミントン選手権大会（シングルス部）

竹中 和奏 阿部 暦 香川 絢優 今井 瑠菜



○この人の自主学習ノートがすごい！

定永千宙（1-1） 三好 優（1-1）

内山知桜子（1-2） 岡田己緒（1-2） 岸 碧乃（1-3）

越江美友（3-3） 梶原樺恋（3-3） 柳原知優（3-3）



## 卒業おめでとう



98名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。皆さんの中学校生活は、前代未聞のグランドでの入学式から始まりました。そして、翌日から2か月間に及ぶ臨時休業。6月1日からの分散登校を経て、6月15日にやっと全校生徒が顔をそろえることができました。しかし、その後も、授業・学校行事・部活動などにおいて、様々な制限が加わり、不自由さや窮屈さを強いられる日々が3年間続きましたが、皆さんは、常に笑顔で、太陽のように輝いて、前へ進むことができました。そして、これまでに経験したことがないような厳しい試練をも自分自身と学年集団の成長につなげることができました。さすが卒業生の皆さん！よく顔晴りました。皆さんなら、これから先、どんな困難なことが起こったとしても、どんな厳しい時代になったとしても常陽魂で乗り越えることができると確信しています。卒業はゴールではありません。未来へのスタートです。常陽中学校での3年間の学びを勇気と力に変えて、自信と誇りを持って、新しい世界へと巣立って行って下さい。常陽中学校の教職員と在校生の全員ですっと応援しています。



## 卒業生の皆さん お世話になりました！

生徒会執行部、1・2年生の文化委員の皆さん、1・2年生の在校生の皆さんが、卒業生の皆さんへの感謝の気持ちを込めて、素晴らしい作品を作り上げてくれました。在校生の作品は、卒業証書授与式で披露します。



今月の言葉

## 有終の美を飾る

～一日一日を大切に～



『有終の美を飾る』という言葉には、「最後の締めくくりをしっかりとし悔いを残さない。」という意味があります。『有終の美を飾る』ために4つのことを大切にしてください。

### 1「学習の締めくくりをする」

「できること」と「できないこと」を見つめ直しましょう。

「できること」は、さらに「できる」ように、「できないこと」は、あきらめずに「できる」ように努力しましょう。

### 2「生活の締めくくりをする」

人として・中学生として、あたり前のことがあたり前にできているかどうかを見つめ直しましょう。慣れや甘えからあたり前のことをおろそかにしないようにしましょう。

### 3「学校をきれいに掃除する」

この1年間お世話になった校舎・教室・廊下・自分の机やイスなど、感謝の気持ちを込めてきれいに掃除しましょう。掃除をすることで自分の心も磨くことができます。

### 4「今を最高に生きる」

今の学級・学年での生活を大切に、授業・行事など、すべてのことに全力で取り組みましょう。そして、仲間や先生方との絆をさらに深めましょう。

2月27日 生徒朝礼 校長講話

## 3年生の保護者の皆様へ

ありがとう  
ございました

お子様のご卒業おめでとうございます。思春期で難しい時期でもあり、進路を決定する大切な時期である上に、コロナの不安と戦う日々が続く、大変なご苦労があったかと思います。この3年間は、今思えばあっという間であったかと思いますが、心身ともに立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと思います。この3年間、育友会活動をはじめ、本校の教育活動にご理解とご協力、そしてあたたかいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

